

わんサポミーティング議事録
[平成 22 年 7 月]

ミーティングはドッグランの運営について意見交換する場です
会員はどなたでも参加は自由です

今回は 8 月 1 日(日) 午前 10 時から

場所はドッグランから徒歩約 15 分のお店「モナの丘」

約 30 分間のミーティング後、懇親会 (BBQ) 会費 3 千円

1 開催日時・場所・出席者数

日時：平成 22 年 7 月 4 日(日) 9:00~10:30 場所：公園研修室 出席者：20 名
(新規参加者 2 名)

2 「しょうぶまつり」のイベント結果について

6 月 12 日(土)、13 日(日)に相模原公園主催の「しょうぶまつり」に参加しました。

◎ ミニドッグラン

利用状況は下表のとおりでした。

| | ひと (人) | いぬ (頭) |
|----------|--------|--------|
| 6 月 12 日 | 79 | 52 |
| 6 月 13 日 | 166 | 109 |
| 合 計 | 245 | 161 |

◎ わんわん大行進

12 日は気温上昇のため犬の負担を考慮して中止、13 日は協力者少数のため中止しました。

◎ 盲導犬デモンストレーション【13 日】

(財)日本盲導犬協会神奈川訓練センター(普及デモ犬 **イデア**)及び盲導犬ユーザーで相模原市田名在住の鈴木さん(盲導犬 **ナンシー**)の協力で、11:30~12:20 と 14:00~14:40 の 2 回、盲導犬のデモが行われました。見学者数は午前約 150 名、午後約 100 名ほどで、盲導犬ユーザーさんに対する TBS のカメラ取材もありました。今回のデモに対しては、昨年のオータムフェアの「しつけ講座」で集まった寄付金から 25,000 円を寄付・支出しました。なお、戸部さんがソラマメ、鳥居さんが各種の苗を提供し販売、売上(約 7 千円)は盲導犬協会が持参した募金箱へ入れました。

◎ フリーマーケット (フリマ)

両日のフリマの売上合計は 44,480 円でした。今回は盲導犬デモンストレーションがあるので、女性会員 8 名が手分けして「わんこクッキー」を焼き、これを販売しました。110 袋中 95 袋売れました。なお売上の 1 割(4,500 円)を盲導犬協会への寄付に回しました。

◎ 盲導犬協会の募金

ミニドックランの受付に募金箱を設置しました。昨年のオータムフェア以降のドックラン管理棟受付での募金、先月の「こどもの日フェア」及び今回の「しょうぶまつり」での募金合計は、24,953円でした。両イベントのフリマの売上金からの寄付金と合わせて、30,000円を盲導犬協会へ送金・寄付し、残金は、募金箱に戻しました。

3 鍵の開閉ルールについて

4月から実施していたドッグランの開場及び閉場に関するルール変更の試行期間が終了しました。この間、些細なトラブルはありましたが、大きな不都合はなかったことから、このまま本施行することになります。

6月19日から、昼間の時間帯を閉場とする夏時間に移行しました。これに関して、朝の開場時に雨が降っていても、その後に晴れたら、ランを開けてほしいという意見が出されました。この要望に対応するため、当面の間は「らくらく連絡網」での連絡要領を以下のようにします。

- ・朝の雨天中止メールに、**午後に晴れば開場する旨の文章を付け加える。**
- ・午後開場の場合の判断は、**ラン近傍にお住まいの北岡さん(当番担当リーダー)が行う。**
- ・午後の受付当番への配慮のため、**14:00ころまでに北岡さんが再メールする。**

4 ドックランの早朝開場の試行について

現在、ランを夏時間で運営しているため午前中は07:00~09:00の時間帯に開場しています。**晴天の場合、閉場時間前にはだいたい気温が上がり犬の身体に負担になっていることと、ラン解放要求者の指摘の一部に夏季の開場時間に関することがあったことを真摯に受けとめ、8月1日(日)までの土日・祝祭日の朝の開場時間を06:00として試行することとします。**早朝の鍵開け及び07:00までの受付については、**有志の会員が担当**しますので、06:45~の当番の方は、上記の期間中は鍵開けの必要はありません。

5 その他

(1) ラン閉場日に会員以外にランを解放せよとの要求について

この件について、会長から、6月24日[(木) 14:00~15:30 公園管理事務所]に行われた相模わんサポクラブと要求者側との直接対話について説明があり、その際に先方が用意した要望書のコピーが資料として配布されました。対話出席者は、先方が林、木村、福野の3氏(いずれも市内在住)、パルス藤田理事長、クラブから戸部会長、治部氏です。その他に、津久井治水センターの石倉副技幹、公園から山本園長、篠崎副園長、小野沢副園長が参加しました。対話では、石倉副技幹から、相模原公園ドッグランの運営は、指定管理者制度に基づいた契約により、平成21年度から5年間はパルスに任されているので、この間、運営方式を変えることはできない旨の説明がありました。先方は、5年間は運営方式を変更できないことに対して一応の理解を示した上で、ラン閉場日の一般開放を強く求めてきましたが、対話は物別れに終わりました。

その後、先方の要望書に対する意見交換を行い、出された主な意見は下記のとおりです。

- ◎ 要求者は県と話し合えばよい。われわれクラブはこの問題について関わるべきではない。
- ◎ ドックランに対して求めるものがクラブとは違う。相模原公園(県)が平成26年度以降の運営団体を新たに公募する予定ならば、要求者側が立候補すればよい。
- ◎ 要求者側から出されている会員登録の際のワクチン接種の義務付けに対する不満、すなわち**(以下の「内は原文のママです」)**「何故、予防接種をしない犬はダメなのか・・・日本は狂犬病すら無い国であるが法定で定められており仕方がないが、ワクチンはあくまで自主接種、それを理由に利用制限するのは差別に当たり、県を相手に提訴すれば裁判で勝てる」、「3

種～9種は法定では無い、昔は無かったが最近は獣医が儲けの最大の手段で自分の犬を守るためにと心理的に言及している事であり、民間施設でもあるまいしおかしな話である」、「現に接種していない犬はいっぱいいるが、町道や公園、その他で何処でも接触しているが、日本中で問題が起っている話がありますか、犬の為にあえてしない人、少ない年金からワクチン代は出せない人も現実にはいますし動物愛護から捨て犬を数頭面倒みている人はワクチン費用はかけない人が多い」という主張について、会員から、東京都西多摩郡瑞穂町にある「みずほエコパークドッグラン」で、犬パルボウイルス感染症の問題が発生した事例があったことを指摘した意見が出されました。(会長追補: 犬パルボウイルス感染症に対する警鐘については、京都府向日市役所から、「沖縄県で流行しています」の言い方で発出されています。<http://www.city.muko.kyoto.jp/news/news08122401.html>)

◎ ミーティングの時間的制約により、その他意見は会長に直接伝えることになりました。

(2) ドッグラン内での首輪装着の徹底について

ラン場内で首輪又はハーネス(胴輪)を着用していない犬がいるとの報告がありました。トラブルの際に犬を制御するため必要不可欠なものなので、未着用の子犬をみかけたら、飼主の会員に装着を促してください。散歩の際に訓練のための「チョーク首輪」を利用している会員は、別途、通常的首輪又は胴輪を持参してください。

(3) わんサポクラブの活動資金について

これまでの公園主催のイベントに参加して実施してきたフリマでの収益で、相模わんサポクラブの活動資金がクラブの会計に集まるようになりました。会計の使い道についてはその都度ミーティングで話し合い、会計報告を適時に行っていました。予算(案)を作ることにしてはどうかと意見が出ました。これについて、会員からのフリマへの物品提供数が減少傾向にあることに伴い商品の仕入れが必要になってきていることから、これまでのような純益は期待できそうもないという意見がだされ、予算編成は当面見送ることになりました。(注: フリマ用の商品は会員からの無償提供であり、売上がそのまま純益となっていました)

なお、運営資金がひっ迫していると仄聞するパルスに対して、クラブの会計から応援したらどうかという意見が出ました。クラブの会計と言っても、一桁の万円の額でしかありませんので、会長がパルスの藤田理事長に相談してみることになりました。

(4) 8月のミーティングについて

今回のミーティングは8月1日(日)午前10時からです。会議は短時間で済ませ、会議後、公園最寄りのお店で「こどもの日フェア」及び「しょうぶまつり」の打ち上げと、会員の懇親を兼ねてBBQ(バーベキュー)昼食会を開催します。犬を同伴できる店です。ふるってご参加ください。BBQの詳細は「[らくらく連絡網](#)」でお知らせします。

次回のミーティングは 平成22年8月1日(日)

午前10時～10時半 場所は「モナの丘」

<http://www.monanooka.com/wp/> TEL:042-777-8586

相模原市南区下溝 4390 番地 市営峰山霊園管理事務所近く

雨天でBBQが中止の場合は、午前9時から公園研修室で開催します